



## ◆営農情報配信システムについて

平成30年より、営農情報配信システムを運用開始し、気象災害や農産物出荷に係わる情報の配信を実施しています。

近年、有線放送農業協同組合の解散も増え、登録者が増加してまいりました。しかしながら、登録者増加による、システム運用に課題がでてきたこと、また登録後送信エラーが増加し、30%程度が送信不能となっている状態となっています。

このため、システム運用が適正に実施できるよう、下記対応をとらせていただきます。

- ・利用規約8条3に基づき、8月末日までに、都度送信エラーのメールアドレスを登録抹消と致します。
- ・利用規約を改正し、登録可能なメールアドレスは、1組合員1メールアドレスと致します。

現在、1組合員複数メールアドレスを登録されている方には、1メールアドレスに変更いただきます。対象者には、通知を送付致しますので、対応をお願い致します。

- ・新規利用申し込み、登録内容の変更も受け付けておりますので、お知らせ致します。

1. 申込方法:各流通センター、JAファーム、営農資材センター営農技術員まで  
利用規約をご確認の上、新規利用申込書又は登録変更申込書に必要事項記載の上、提出ください。
2. 申込期間:随時
3. 留意事項:申込書提出から、登録までお時間をいただきますので、ご承知おきください。

## ◆農作業に係る留意事項について

地域住民より苦情が寄せられています。同じ住民として、配慮しながら農作業をしましょう。

1. 農機具利用（スピードスプレーヤ・動力付噴霧器・爆音機等）の際は、日中も含め特に極端に早い時間等の騒音に注意する。  
特にこれからの収穫時期は、爆音機の爆音（バードガードなども含む）による苦情が、毎年県及び市へ報告されます。
  - ①住居から直線距離で200m未満の位置で使用しない。
  - ②200m以上離れていても設置期間を必要最小限にし、近隣住民の生活環境に十分配慮する。また、筒先を住宅地に向けないように配慮する。
  - ③早朝・夜間には使用しない。使用時間は日の出から日没までとし、住居がある場合は睡眠の妨げにならないようにする。
  - ④爆音機に代わる防鳥網・テグス（糸）など使用する。
2. 子供たちの登下校、通勤等の時間等、薬剤散布に注意し、対策を実施する。
3. 近隣に住宅等ある場合は、住宅や洗濯物への飛散をしないよう、配慮しましょう。
4. 剪定枝の焼却は、消防書への届け出を必ず行い、大きな火種や煙に注意（凍霜害資材の燃焼）し、適正な処理をしましょう。

※薬剤防除や焼却は、必要に応じて近隣住民に事前にお知らせする等も実施しましょう。

### 5. 熱中症対策

農作業中の熱中症を予防するため、炎天下の長時間にわたる作業は控え、日除け対策を万全にする。高温が続き疲労が溜まっていると思われまますので、「農作業の安全」に対する意識を常に持つよう心がけ、農作業中の事故を起さないようご注意ください。

## ◆農薬による河川水の汚染防止について

農薬の調合液を作る時はラベルに書いてある希釈倍率と使用料を守るとともに、調整液が残らないように必要量だけ調整してください。やむを得ず残ってしまった調整液や散布器具を洗浄した液は、散布むらの調整等に利用し河川には絶対に流さない。

## ◆農薬のドリフト（飛散）防止対策を徹底し、 安全・安心な農産物を生産しましょう

1. 農薬の使用にあたっては容器に表示されている記載事項を遵守し適正な取り扱いに心がけましょう。
2. 農薬散布を行う際は、風の弱い時に、風向きに気を付けて散布しましょう。  
また、住民等へ周知するなど周辺環境への配慮にも心がけましょう。
3. 農薬飛散（ドリフト）低減ノズルや障壁ネットなどドリフト低減資材を活用しましょう。  
また、ノズルの散布圧力や散布風量を適正にし、ドリフト対策を徹底しましょう。

## ◆農作業事故・交通事故に注意する

「農作業の安全」に対する意識を常に持つよう心がけ、農作業中の事故を起さないよう注意下さい。  
また、各共選所内において生産者の皆様以外にも、直売所のお客さん・運送会社の大型トラックなど車の行き来が多くなります。安全運転を心がけ事故の無いようにしましょう。

## ◆盗難に注意

農産物・資材・車両等の盗難に気を付ける。施錠する・園地に置きっぱなしにしない等の対策を実施する。

## ◆草生栽培の推進について

草生栽培のメリットは、土壌の団粒化を促進し・乾燥の激変を防ぎ・有機物が生産されることにより、地力維持が図られます。

1. 播種時期は、裸地で果樹が植わっていない場合は8月下旬～9月上中旬に行う。  
すでに樹が植わっている場合は収穫作業等により播種ができないので4月～5月に実施する。
2. 播種前には除草剤(ラウンドアップ等)の散布を行い、その10日後(効果が現れる頃)に耕起し、更に草が多ければ再度耕起を行う。ギシギシ・タンポポは取り除く。
3. 播種量は、雑草の無い場合は3～5kgで良いが、**雑草が残っている場合は、7～10kg(2倍)必要となる。**なお基本的に通路のみの播種となる。
4. 播種前後の処理 播種前にレーキ等を使用して平らにならし播種する。播種後にレーキ等で覆土し鎮圧する。鎮圧が不完全だと発芽不良となる。鎮圧は重要な作業!
5. 種類と特徴

### 1) トールフェスクフォーンについて

- ①播種量・・・4～5g/m<sup>2</sup>⇒10a全面施用で4～5kg
- ②特徴・・・生育が早く草量が多い。日陰ややせ地でも生育する。  
株立ち型なので短く刈り過ぎると露出面積が増えて雑草が生えやすい。

### 2) ケンタッキーブルーグラス について

- ①播種量・・・3～4g/m<sup>2</sup>⇒10a全面施用で3～4kg
- ②特徴・・・初期の生育が遅いので小まめな刈り込み管理が必要。ただし一旦定着すると生育は早く、踏圧やその他の損傷に強い。草丈が短く刈り取り回数が少ない(草量が少ない)が、長く伸ばすと寝てしまい刈りにくい。

6. 取扱い先・・・**希望者は、JAファーム又は各営農資材センターまでお申込みください。**

草の種類	性質	草量	形態	刈取性	耐寒性	耐暑性	耐乾性	耐湿性	耐踏性	耐陰性
トールフェスク		多	株	○	◎	○	◎	○	○	◎
ケンタッキーブルーグラス		少	※1	△	◎	△	◎	○	◎	○

※1 ほふく性(地面を這う様に伸びる性質)

## ◆土壌分析診断の実施について

高品質の果実を毎年安定して生産する為には土壌分析を行い、土壌条件等を把握した上で土づくりと施肥をすることが大切です。果樹園の土作りの一助として活用いただくようご案内致します。

### 1. 申込みについて

- ①各流通センター・共選所に「申込用紙」(※表紙に令和6年8月作成と記載されている用紙)と「土を入れる専用の封筒」があります。  
お手数ですが各自で必要分を取りに来ていただくようお願いいたします。  
土の採取方法なども申込用紙に記載してあります。
- ②希望する方は申込用紙と土を各流通センター・共選所に提出してください。施肥前の実施が基本。  
遅くなるほど結果が出るまでに時間がかかります。早ければ1ヶ月、遅ければ2ヶ月かかります。
- ③診断結果は分かり次第連絡します。
- ④何件でも調査は可能です。
- ⑤土はしっかりと日陰で**乾燥させてから提出**して下さい。湿気っている場合は正確な測定値が出ません。  
乾いていない場合は返却または乾くまで受付できない場合があります。

2. 検査内容について ※主なコース

コース	1件の費用	調査内容	調査点数
Aコース	1,200円	PH、CEC、リン酸、石灰、カリ、苦土など	8点
Bコース	3,700円	Aコース+窒素+微量元素など	16点
Cコース	2,100円	Aコース+窒素など	11点

※果樹は9月礼肥前が診断としては最適です。ただし、混んでくる時期になります